

奈良先端科学技術大学院大学紹介ビデオ仕様書

1. 目的 本学は創立以来情報科学、バイオサイエンス、物質創成科学の3つの研究分野で独創的な研究や国際的な共同研究により大きな成果を上げてきました。そして来年20周年を迎えるにあたり、現在の研究成果や内容を幅広く周知し、最先端研究を行う大学院大学としてのイメージをさらに高めるため、受験生、企業、外部研究者及び一般市民に対して本学の魅力を効果的に紹介することを目的とする。
2. 基本概念
 - 学部を持たない大学院だけの大学であり、学生は学部での研究にとらわれず大学院から新しい領域にチャレンジできること。
 - 国の第二期科学技術基本計画の中で盛り込まれた重点推進4分野のうちIT(情報技術)、バイオ(生命科学)、ナノテク(超微細技術)の3分野に対応した研究科があること。
 - 情報科学研究科、バイオサイエンス研究科、物質創成科学研究科では最先端領域の研究だけではなく、共同研究や受託研究など外部資金による研究も盛んであること。
 - 平成22年3月に総合実験研究棟を竣工し、既存の研究科の垣根を越えた融合領域の研究を推進していること。
 - バイオサイエンス研究科および情報科学研究科情報生命科学専攻の融合グループの「フロンティア生命科学グローバルプログラム」がグローバルCOEプログラムに採択、世界トップレベルの研究に取り組んでいること。
 - 文部科学省の補助事業「組織的な大学院教育改革推進プログラム」に3研究科が採択、外部の企業や公的研究機関と連携して教育連携講座を設けるなど大学院の教育にも積極的に取り組んでいること。
 - 次のように本学の教育・研究が国内トップクラスの高い評価を受けていること。
 - ・『週刊東洋経済』の特集「本当に強い大学2009」で、研究水準ランキング、教育水準ランキングの両方で、国立大学中第1位にランキング。
 - ・『朝日新聞社2010年版大学ランキング』の「ISI論文引用度指数」で、総合で大学中第1位にランキング
 - ・第87回総合科学技術会議「内閣府調査」の、教員一人当たりの「研究経費」、「科学研究費補助金採択件数」、「科学研究費補助金配分額」、「特許ライセンス収入」、「大学発ベンチャー数」の項目で、国立大学中第1位にランキング。
 - 既存の学門分野を超えた融合領域を生み出す学風が、昨年ラスカー賞を受賞し、

ノーベル賞受賞の呼び声が高い京都大学の山中伸弥教授などを輩出していること。

3. 制作概要

- 1) キーワードとして「知の創造（研究）」「知の継承（教育）」「知の還元（地域・社会貢献）」「グローバル」「最先端」などをイメージし、大学の目的、理念、機能の全てが凝縮された表現の「テーマ」を考案すること。
- 2) 本学が国内トップクラスの大学であり、奈良（けいはんな学研都市）から世界に向けて最先端の研究成果を発信しつづけていることを印象づけること。
- 3) 3研究科を必ず網羅し、また研究内容の紹介では科学の最先端を表現するため3DCGを使用し、視聴者に研究内容が分かりやすく伝えることを心がけること。
- 4) 平成22年3月に竣工した総合実験研究棟にスポットをあて、既存の研究科の垣根を越えた融合領域の研究を推進していることを印象づけること。
- 5) 国際交流についても取り上げ、2009年12月に国際連携推進本部を立ち上げて教育研究のグローバル化及び大学運営の国際化を推進していること、国際シンポジウムの開催など活発な研究者交流を行っていることを紹介すること。
- 6) 産官学連携についても取り上げ、研究成果の多くが社会に還元されていること、大学と産業界および地域社会との連携をはかり、活発な地域交流を行っていることを紹介すること。
- 7) 学生のサポート体制、住居や学習施設、生活環境などが充実していることを取り上げ、学習と研究に専念できる手厚い学生支援を行っていることを紹介すること。

4. 規格

- ・日本語、英語、韓国語及び中国語版
- ・収録時間は15分程度
- ・収録はHDテープで行うこと
- ・マザーテープもHDテープとする

5. 納品

- ・ブルーレイディスク（各国語毎にチャプター分けする） 5枚
 - ※ 画質はフルハイビジョン（1920×1080）で、ブルーレイディスクプレイヤーで再生可能であること
- ・DVD（各国語毎にチャプター分けする） 30枚
 - ※ アスペクト比16：9のDVD-Videoとすること
 - ※ マルチセルアクセス（プレイリスト）に対応していること

- ・電子ファイル（チャプター（タイトル）を1ファイルとした素材）

6. 納期 平成22年9月30日

7. 納品場所 奈良先端科学技術大学院大学企画総務課広報渉外係

8. 撮影
- 1) 場所 関西文化学術研究都市高山地区上空、奈良先端科学技術大学院大学、大学修了者の就職先企業等
 - 2) 期間 航空撮影、本学などのロケーションを含め10日間とする。
 - 3) スタッフ プロデューサー1名、ディレクター1名、カメラマン1名、カメラ助手1名を最低人数とし、撮影の内容によっては適宜スタッフを増やし、万全の体制をとることとする。

9. 制作上の留意点

- 1) 制作にあたっては本学の担当者と下記の段階において適宜調整の上、作業を進める。
 - ・企画構成段階
 - ・シナリオ制作段階
 - ・編集段階
 - ・録音段階
- 2) 英語、韓国語、中国語版作成用としてナレーション原稿及びCG、テロップの英訳、韓国語訳、中国語訳を作成し、内容について発注者の承認を得るものとする。
- 3) 必要に応じて、本学の所有する写真及び映像等を加工し、素材として使用すること。
- 4) プロデューサー、ディレクター及びカメラマンは大学紹介ビデオ及び科学分野の映像制作経験者に限るものとする。
- 5) ビデオに使用する動画・表・イラストを含む全ての著作権は、発注者側（大学）に帰属するものとする。
- 6) 研究室等でプレイリストを編集して独自の広報ビデオを制作したり、Webにより公開することに対応するため、チャプター（タイトル）を1ファイルとした素材を提供すること。ファイル形式は、フルハイビジョンでできるだけ高画質（画質劣化の少ない）なものとし、一般的なビデオ編集ソフト（Adobe Premiere等）で編集可能な形式とし、ビデオの解像度、画像・音声圧縮方式、ファイルフォーマット、記録メディアについては本学担当者と相談の上、決定すること。

構成案（イメージ）

	項目	内容	表現の手法
1	プロローグ（30秒程度）	大学の目的、理念が凝縮された一つの「メインテーマ」を定め、最先端の映像技術によりインパクトのある導入部分を構成する。	3DCG、実写映像との合成
2	概要説明（1分程度）	目的、理念 沿革 立地 組織など	関西文化学術研究都市全体から本学の空撮
3	各研究科の紹介（10分程度）	研究科紹介への導入イメージ 情報科学研究科、バイオサイエンス研究科、物質創成科学研究科	3DCGにより表現する
		組織	図等で紹介
		研究内容	研究実験風景・デモ映像を織り交ぜ詳しく紹介。 必要に応じ3DCGで表現
		インタビュー	学生または修了生のインタビューにより研究科を紹介
		各センターの紹介	各センターの役割を簡単に紹介
		施設設備	最新の施設や設備を紹介
4	国際交流（3分程度）	国際交流の取り組みや実績	国際連携推進本部の紹介、留学生のインタビュー
5	産学連携（1分程度）	産学連携の取り組みや実績	産学連携本部や企業を紹介
6	キャンパスライフ（手厚い学生支援）（1分程度）	学生宿舎、大学会館など	学生や教員が実際に施設を使用している映像を中心に紹介
7	エピローグ（1分程度）	受賞などの研究成果 メインテーマに沿って、本学の未来に向けたメッセージを表現する。	3DCGや受賞の写真や実写を使いダイナミックに表現

下記の項目をプロローグ又は概要説明で盛り込むこと。

- 1) 本学が国内トップクラスの大学であり、奈良（けいはんな学研都市）から世界に向けて最先端の研究成果を発信しつづけていることを3DCGや図表を用いて表現すること。
- 2) 昨年ラスカー賞を受賞し、ノーベル賞受賞の呼び声が高い京都大学の山中伸弥教授が、本学の出身であること、その研究の基礎をここで学んだことを紹介すること。